

キャベツ【岩手町】

産地 探訪

岩手町で生産される
ブランドキャベツ
「いわて春みどり」は
柔らかさと甘みが特徴で
7月からの夏場に出荷している。
岩手町では明治時代から
キャベツ栽培を始め
「南部甘藍」の名で親しまれ
昭和20年過ぎには、
全国一の出荷量を誇っていた。
岩手町は100年を超える
キャベツ産地である。



たかむら ゆたか
高村 豊 さん(31) (岩手町・川口)
【(株) グリーンスタカムラ 代表】

20歳の頃から実家のキャベツ栽培に携わり、現在は23ヘクタールにキャベツを作付けし、いわて春みどりとして出荷しています。昨年春に法人化しましたが、常に挑戦の気持ちで、産地のレベルアップを目指しています。



まつお ひでや
松尾 秀也 さん
【東部営農経済センター米穀園芸課】

夏場に出荷する「いわて春みどり」は、甘くて柔らかい春系キャベツで、人気があります。多くの人に、おいしいキャベツを届けるため、品質の向上はもちろん、安定出荷を心掛けた産地づくりを進めています。